

# 隨泉寺寺報

平成 24 年 (2012 年) 6 月号 第 502 号

Tel 082-892-0217 http://www.zuisenji.com/

浄土真宗本願寺派 高峯山隨泉寺

前期門信徒講座

講師 源光寺住職 安長 照真師

講題 『み教えを聞く』

## ■ 『金環日食』

2012 年 5 月 21 日は、日本の太平洋側の広い地域で金環日食（または金環食という）が見られました。これほど広範囲で見られるのは西暦 1080 年以來 932 年ぶりの出来事です。しかし残念ながら広島は見えるエリアではなかったため、部分日食でした。谷川俊太郎の詩を思い出しました。

### [ 私たちの星 ]

はだしで踏みしめることの出来る星 土の星  
夜もいい匂いでいっぱい星 花の星  
ひとしずくの露がやがて海へと育つ星 水の星  
道ばたにクサイチゴがかくれている星 おいしい星  
遠くから歌声の聞こえてくる星 風の星  
さまざまな言葉が同じ喜びと悲しみを語る星 愛の星  
すべてのいのちがいつかともに憩う星 ふるさとの星  
数限りない星の中のただひとつの星 私たちの星



## 6 月の法座予定

- 6 月 10 日 …… 掃除 中須賀・コモンライフ
- 6 月 14 日 昼席午後 1 時より …… 門信徒講座
- 6 月 15 日 朝席午前 10 時より …… お父さんの集い おとき
- 6 月 15 日 昼席午後 1 時より …… 門信徒講座 引き続き修復委員会
- 7 月 2 日 午後 6 時より …… 門信徒会本部役員会

## ☆ 初参式 万緑の中や吾子（あこ）の歯 生え初（そ）むる

草木がしげって緑いっぱいの中で、わが子がにっこり笑ったひょうしに白い歯がのぞいた。子どもの成長ぶりを喜んでいる句。

5 月 14 日 (月) 降誕会法座の初日 隨泉寺の門信徒の初参式を行いました。

今年は岡崎宏和さんの長男蒼空（そら）くん、七竹真吾さんの長男俊介（しゅんすけ）くん、原龍太郎さんの長男大希（たいき）くんの三名の方が出席してくださいました。厳かな式の中にもお参りされた皆さんが祝ってくださるとても和やかないい初参式でした。



浄土真宗の門信徒のご家庭に生まれた赤ちゃんが初めてお寺にお参りする「初参式」は、尊いご縁によって恵まれた新しいいのちを阿弥陀如来さまの御前にて、ご家族、また縁ある方々そろってお祝いし、感謝するお式です。

初参式は、子にとっての人生の始まりの仏縁ですが、同時に親にとっても、親として生きる出発点であり、子によって与えられた尊い仏縁であります。「死」が大きな仏縁となるのと同様に、「生」もまた尊い大きな仏縁となるのです。お釈迦様は生まれるとすぐに七歩歩まれ、「天上天下唯我独尊」と宣言されたそうです。この言葉はこの世に人として生を受けたということは、一人一人が尊いかけがいのない”いのち”を持って生まれてきたということであり、その尊い”いのち”を、ほんとうに生かしていき行かねばならないということです。



我が子に何事であろうとも、私はこの子の親として、この子に寄り添い続けます。「アミダさま。この子の人生にどんなことがあっても、私はこの子の親であり続けます」と、アミダ如来様に誓う式が浄土真宗の「初参式」です。

## ☆お父さんの集い

5 月は「母の日」、そして 6 月の第 3 日曜日は「父の日」です。母の日には感謝を伝えることができましたか？ うまく出来ても出来なくても、ふと触れ合う時間があることは素敵なことです。「母の日」と同じように、身近な関係だからこそその照れくささがある「父の日」に、さりげなく相手と深く関わってください。

6 月の 15 日朝席はお父さんの集いです。日ごろは照れくさくてお寺に参れないお父さん。みんなで参れば怖くない。お酒も用意します。誘い合わせてどうぞお参りください。

6月

## 悲しみを さないと 見えてこない世界がある

受験期のお子さんをおもちのお母さん方は、今、お子さんに、どんな態度で何を  
してあげてくださっているのでしょうか。ただわが子が、受験に勝利してくれればい  
いと、叱咤するだけでいいのでしょうか。また、オロ  
オロ、子どものご機嫌を取るだけでいいのでしょうか。

勝利しても、失敗しても、それが、人間成長の上に、  
大きな栄養になるようにと、願ってくださるべきでは  
ないでしょうか。

広島県下のある中学三年生の生徒の詩をご紹介します  
しょう。



### 母と語る

夜 母と話をしていました。母は静かな声で話しました。  
なんの話かという入試のことなのです。

母は 第一志望校に落ちて 第二志望校の高校へいったそうです。  
合格発表があった日

一歩も家から外へ出ることができなくて 泣いていたそうです。  
だから世間話などで あの子は入ったとか あの子は落ちたとか  
そんな話は いっさいしません。

今になってみると あのときのことが  
物の考え方に ひどく役に立ったとっていました。

心のやさしさの大切さがよくわかったそうです。

いろんな人の気持ち いろんな人の立場が

少しでもわかるようになったのは

あのときの体験のおかげだと 淡々と話しました。

母は 受験では失敗しました。

でも やさしさに磨きがかかったのです。

不合格を 冷たい目で見ない母を ぼくは尊敬します。

そのときは悲しかったにちがいありません。人の目を気にしたかもしれません。

でも 今では 静かな声で 話します。

年月がそうさせたのでしょうか。

人間の気持ちは変わるのでしょうか。

今では それが 心の強さ やさしさになっているのです。

夜の 母との話は たくさんのことを考えさせてくれました。



☆吉本隆明・杉山平一・新藤兼人 往生

「戦後最大の思想家」 吉本隆明さん 関西詩壇の最長老、杉山平一さん 映画界の長  
老 新藤兼人さん次々と亡くなりました。三人とも団塊世代に熱狂的なファンを持  
ちながら、若い世代にはあんまり知られていません。しかし私は隠れファンでした。

吉本隆明に敬意を寄せる人は、みな彼の言葉にはウソがない、信用できるといいま  
す。知識人を評する言葉として、「鋭い」「切れる」という頭脳の明晰さを賞賛する言  
葉はよく耳にしますが、「ごまかさない」「ウソをつかない」という評価はあまり見か  
けません。その意味で、吉本隆明の評価は、その言論だけでなく人柄も含めてまるご  
との評価なのです。

吉本氏いわく【親鸞は、生きているこの世は「煩惱の故郷」である、と言  
うんです。人間の煩惱は、いまいるこの世に執着を醸し出すものなんです。  
だから、煩惱ある人間にとっては、いくら「安楽な浄土だ」と言われても、  
そこへ行きたくない、この世にいたい、と思うのは、普 なんだよ、ということなのです。  
親鸞は、そういう言い方で弟子に即座に答えるわけです。こっちは、もう感心のしっ  
ぱなしです。うわあ、すごいことを言う坊さんだ！】



杉山平一さんは三好達治や堀辰雄、竹中郁らと詩誌「四季」の同人仲間として交流し、  
詩史の近・現代を結ぶ存在で関西詩壇の最長老でした。深い人生経験からつづられる  
言葉は平明で温かく、幅広い読者の心を包みしました。

生 杉山平一

ものをとりに部屋へ入って 何をとりにきたか忘れて もどることがある

もどる途中でハタと 思い出すことがあるが そのときはすばらしい

身体がさきに この世へ出てきてしまったのである

その用事は何であったのか

いつの日か 思い当たるときのある人は 幸福である

思い出せ マゝ 僕は すごすご あの世へもどる

【生きることは生き抜くことです】

映画界の長老 広島生まれの新藤兼人さんの最近の口癖

